

ロータリークラブ

便り

奈良西ロータリークラブ会長

安井 清悟さん(54)

私たちが所属する奈良西ロータリークラブ(RC)が、国際ロータリー2650地区に属することとは先月ご紹介したが、地区を代表する役職が「地区ガバナー」と呼ばれる人物。RC会長と同じく、任期は1年で交代する。今年ガバナーは、京都南RCに所属

する中沢忠嗣氏が務められる。ガバナーの職務はさまざまあるが、地区内すべてのクラブを訪問するのもガバナーの役目となっている。奈良西RCには10月29日に訪問された。当日は多くのクラブ員に迎えられ、例会に出席される。その際ガバ

ガバナー訪問

ナーアドレスという、いわゆるガバナーの方針のようなものがクラブ会員に伝えられる。併せて、今後の国際ロータリークラブのあり方や地区の考え方なども報告される。

ガバナー訪問の日は会員も緊張するが、会長や幹事、理事・役員も緊張はより高まる。「今のクラブ運営に地区とのスレが無いか、失礼が無いか、スケジュール通りに進行できるか」など、大変気をもむ平日となる。

クラブ全体を見る管理部門や奉仕を実践する奉仕部門、新入会員の獲得を計画する会員増強部門、クラブの事を広く知ってもらうための広報部

門、寄付金担当の財団部門などについて、各理事や担当委員長から方針説明があり、ガバナーはこれを聞いて講評を行う。

中沢忠嗣ガバナー(中央列右から4人目)を迎えて行われた例会(10月29日、奈良市法華寺町の奈良ロイヤルホテル)



会員に基本方針伝達

だと感じている。このようにして、RCは世界各国のロータリアンがほぼ同じような奉仕の精神を持ち、活動内容も共有できるようになっている。